

他目的使用申請についての手引き

【有償用】

道後平野土地改良区
松山市朝生田1丁目12-19
TEL 089-943-0922
申請担当者 工務課 施設係
岡崎 瑞輝
朝山 和孝
入金担当者 総務課 会計係
安田 和枝

土地改良施設他目的使用とは

他目的使用とは、道後平野土地改良区が管理する土地改良施設及び用地をその本来の用途又は、目的を妨げない限度において他の目的に使用させる場合をいう。

土地改良区の本来の用途又は、目的を妨げる使用及び、下記事項に該当する場合には、許可できません。

申請者	<p>1. 申請者が業者の場合(開発業者・土木業者・不動産会社等) *申請者は施設に隣接する土地所有者を原則とします。 *借地者の場合も同様に土地所有者を原則とします。 *売買契約が終わっている土地については売買契約の写しを添付することで、業者名でもよい。 [申請手続きについては、委任状を付ける事により業者が代理することができます。] [委任代理者は、申請から完成届提出までの一切の責任を負うこととなります。]</p>
-----	---

書類等	<p>1. 地元土地改良区・水利組合の承諾が得られない場合 2. 申請書類不足・使用料の未納入の場合 3. 以前に契約取消し・無断使用等があった場合</p>
-----	--

床版橋	<p>1. 床版設置により土地改良施設(水路)に直接荷重を掛ける場合 *水路は他の荷重に耐える強度・構造にはなっていません。 *水路壁に差筋・切込みはできません。 *新設構造物両端で床版を支持してください。</p> <p>2. 床版を駐車スペース・材料置場等として使用する場合 *申請地への出入りの通行のみとします。</p> <p>3. 床版延長が規定以上の場合 *原則として1地番につき4mが規定です。 (前面道路幅員により角きりが必要な場合には事前協議してください。) (集合住宅・商業店舗等のやむを得ない場合には事前協議により決定) *下記については、地元改良区・関係者との協議により最大12mまでとする。 (都市開発法に基づく道路等の接続及び特殊建築物等の場合) (資材置場及び大型店舗等で、大型車両搬入のための出入り口の場合)</p> <p>4. 床版の材質が鉄板・木製の場合 *鉄板・木製は腐食等により耐久性が無いので、鉄筋コンクリート・鋼製グレーチングとしてください。</p> <p>5. 床版に保安施設を設けない場合 *水路形態等により指示のあった場合、床版両端に、転落防止を設けてください。(ガードパイプ・駒止め等)</p> <p>6. 開口部を設けない場合 *水路形態により管理上必要と判断した場合、延長4m以上8m未満は1箇所 8m以上12m未満は2箇所、(600×400)の開口部を設けてください。</p>
-----	---

管放流	<p>1. 多量の放流により用水量に影響を及ぼす場合 2. 悪水の放流により用水の水質に影響を及ぼす場合 (基本的に土地改良施設は農業用水路であるため)</p>
-----	--

他目的使用の手続きについて

下記のような手順で行います。 が申請者・委任代理者にして頂く手続きです。

1. 申請

土地改良施設他目的使用申請書の提出 すべて2部提出(1部複写可)
提出書類内訳(別紙提出書類の記載例参照)

- ①申請書 ②位置図 ③平面図 ④断面図 ⑤構造図 ⑥現況写真
⑦承諾書 ⑧誓約書 ⑨委任状 ⑩水利・構造計算書(構造物により提出して頂く場合があります)



2. 審査

道後平野土地改良区にて書類審査及び現地確認

3. 契約書の作成

道後平野土地改良区にて契約書を作成 申請者・委任代理者に電話にて連絡



4. 契約書提出・入金

申請者が契約書に押印し提出、及び使用料の納入 (別紙使用料一覧表参照)



5. 契約・承認の審査

道後平野土地改良区にて契約・承認の審査

6. 契約書・承認文書の発行

発行書類 ①承認文書 ②契約書 付属書類 ①着工・完成届



7. 契約書・承認文書の受取

手渡し及び郵送



8. 工事着工

申請者・委任代理者が着工届提出

※別紙注意事項参照



9. 工事完成

申請者・委任代理者が完成届提出(工事中及び完成写真添付)

※別紙注意事項参照



10. 完成検査

道後平野土地改良区が委任代理者と共に現地確認

※委任代理者は1～10までの手続きを、申請者に代わり責任をもって行ってください。

着工・完成届けの注意事項

1. 長期に渡る工事の場合は地元関係者へ着工・完成を連絡して下さい。
2. 工期延長の場合は早めに道後平野土地改良区へ連絡し指示を仰いで下さい。
(他目的使用変更申請が必要になります。)
3. 完成後、道後平野土地改良区で現地確認の上、適切な施工及び使用方法でないと判断した時は、契約を解除する事があります。

土地改良施設他目的使用料一覧表

区 分	単 位		金 額	備 考
	基 本	期 間		
床版橋	1 m ²	1 年	(円) 1, 5 0 0	m ² 単位は小数 3 位切捨て (例)2.357≒2.35 m ² 2.35×1,500=3,525 円/年
電柱等	各 1 本	1 年	1, 5 0 0	大きさに関係なく本数 (例) 3 本×1,500=4,500 円/年
埋設管 (給水管) (排水管)	1 m (口径300未満)	1 年	1, 0 0 0	m単位は整数止め (例)300 未満 3.3m≒4m 4 m×1,000=4,000 円/年 (注)保護管がある場合はその口径で計算して下さい。
	1 m (口径300以上)	1 年	2, 0 0 0	
工作物 その他	1 m ²	1 年	3, 5 0 0	広告物等の表示面積 m ² 単位は小数 3 位切捨て (例)8.657≒8.65 m ² 8.65×3,500=30,275 円/年
事務処理			2, 5 0 0	譲渡・変更等の場合

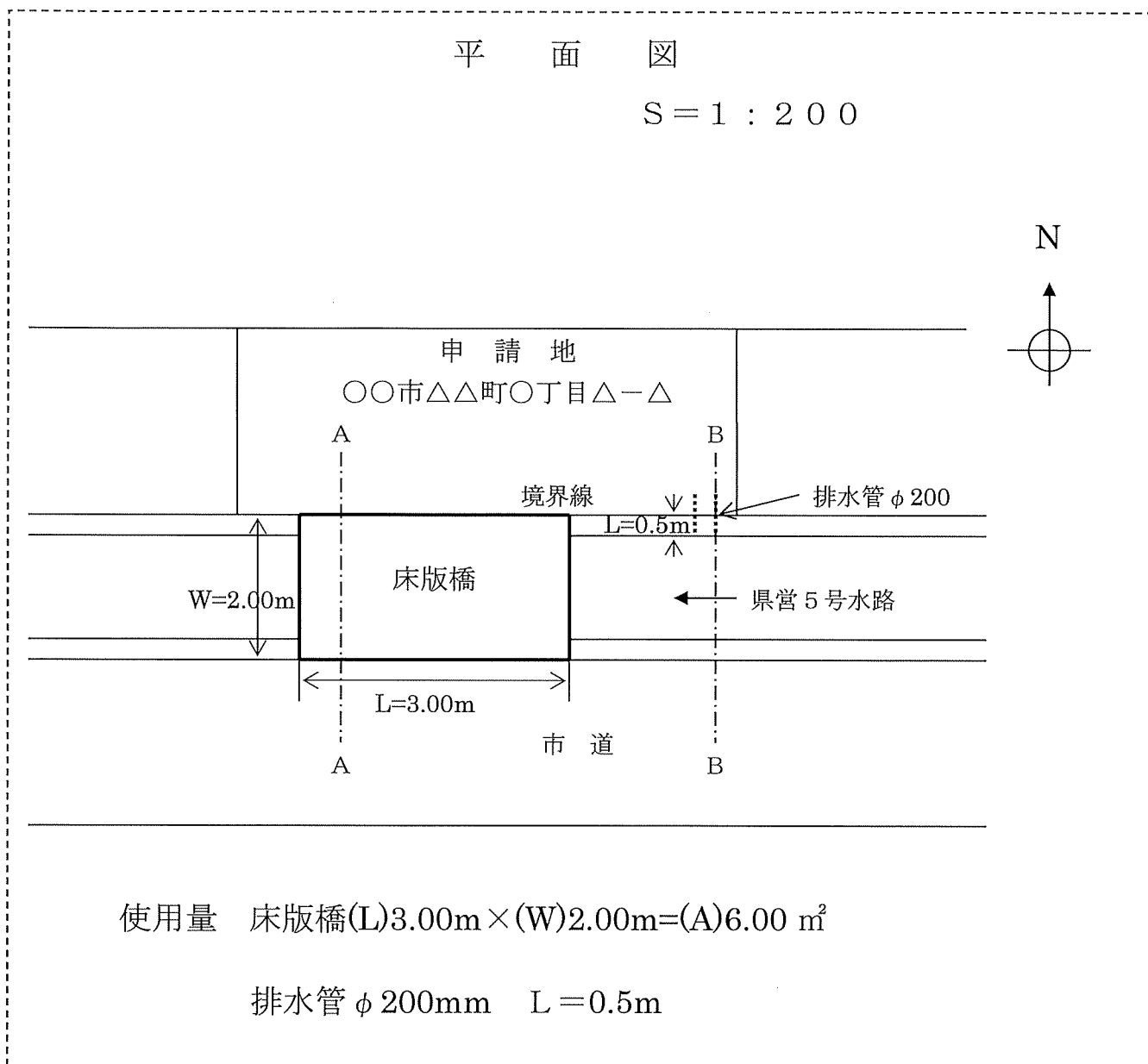
他目的使用料は 10 年間分一括払いを上限とし、10 年間分一括払いの場合は、使用量の変更が無い限り、それ以降の使用料はいただきません。

使用料を振込みされる場合

振込先 伊予銀行 立花支店 道後平野土地改良区
1 0 4 1 0 6 7 2 1 4

(注)振込みをされた日に総務課 安田までご連絡下さい。

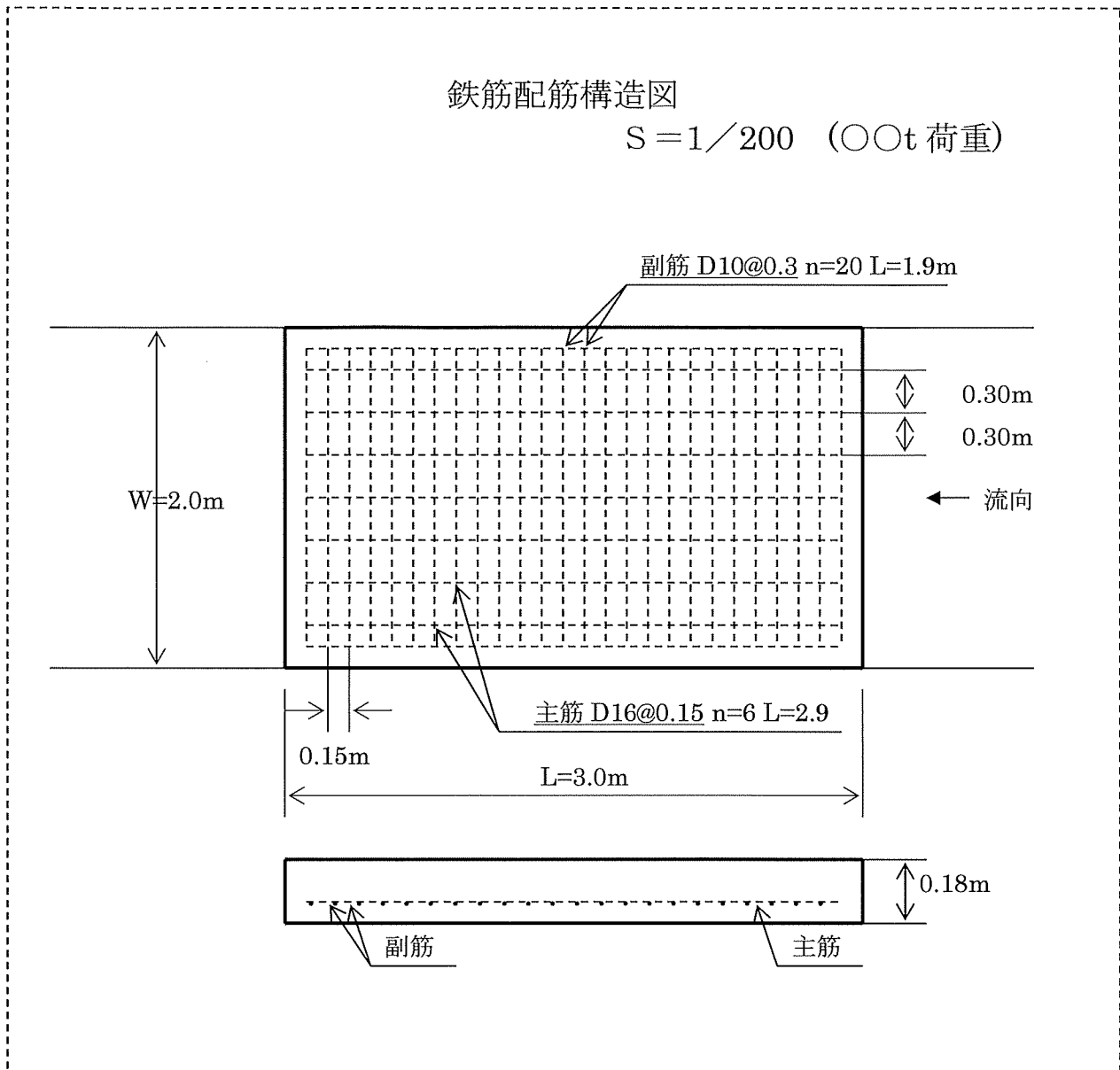
(記 載 例)



記載注意事項

1. 申請地がすべて入った平面図にして下さい。
2. 縮尺は 1/200~1/1000 の間で記入して下さい。
3. 隣接境界まで記入し、隣接地までの距離及び地番を記入して下さい。
4. 他目的使用量は、地上に露出している床版の長さ(L)×幅(W)=(A)面積m²で、管類は口径(φ)と長さ(L)とする。但し境界までの幅とする。
5. 市道及び町道等に面し掘削する場合は、市・町の同意を取得して下さい。
6. 申請構造物は赤色表示して下さい。

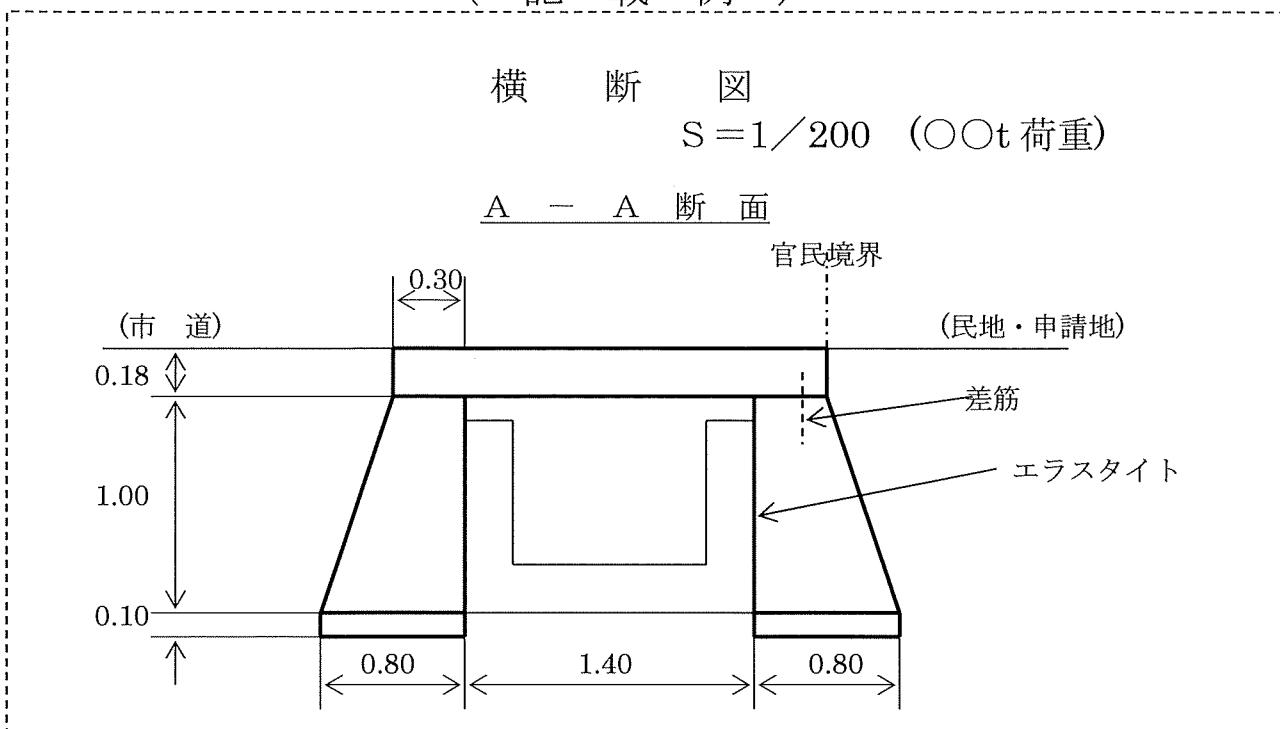
(記 載 例)



記載注意事項

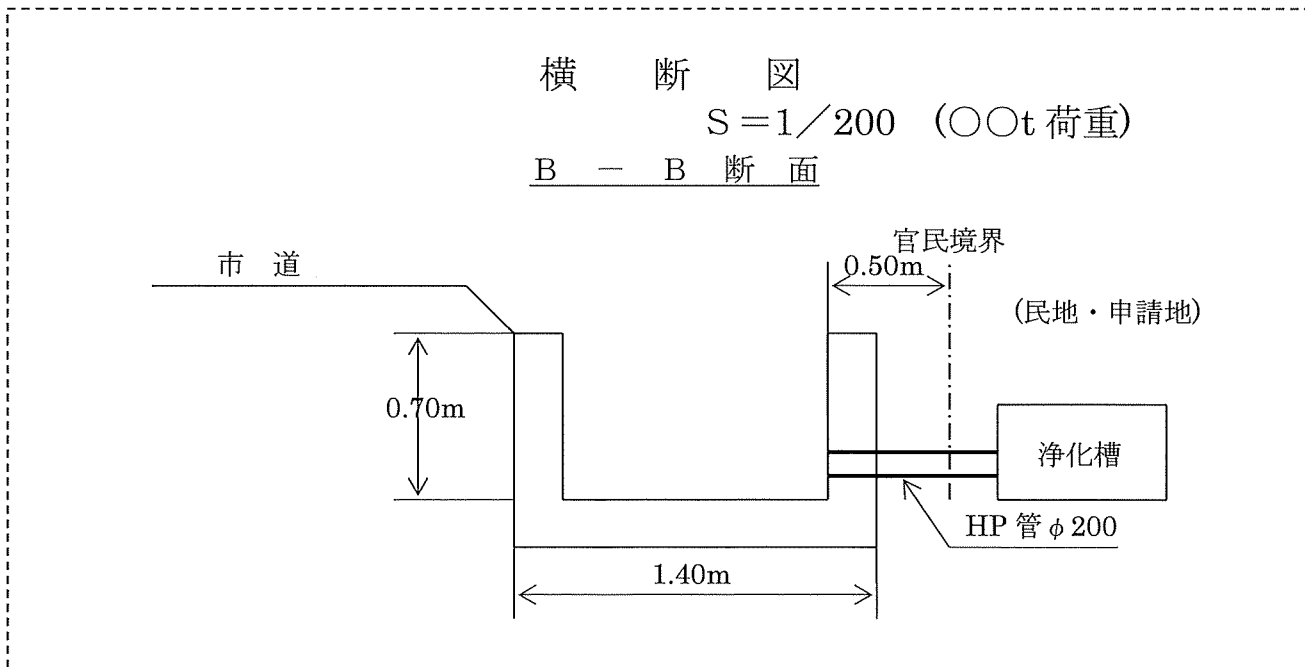
1. 縮尺は 1/50~1/300 の間で記入して下さい。
2. 構造図には水の流れ(←流向)を必ず記入して下さい。
3. 通行重量に合わせて床版厚・鉄筋等を設計し図面に記入して下さい。
4. 床版にグレーチング設置の場合は構造図の中に書き記して下さい。

(記 載 例)



記載注意事項

1. 縮尺は 1/20~1/50 で記入し、水路には荷重を掛けない構造とすること。
2. 県営水路と接する箇所には、エラストイト等を入れること。
3. 申請構造物を赤色で表示して下さい。



記載注意事項

1. 縮尺は 1/20~1/50 で記入すること。
2. 排水管は申請長さ(L)は、民地境界より水路内側までの距離とする。
3. 保護管を使う場合はその口径も記入して下さい。
4. 申請構造物を赤色表示して下さい。

(記 入 例)

※記入箇所

土地改良施設他目的使用申請書

令和 年 月 日

道後平野土地改良区

理事長 白石 勝也 殿

(注)申請者は土地所有者とする

申請者	住所	松山市朝生田町1丁目12-19
	名称	道後平野土地改良区
	氏名	道後 太郎
	連絡先	943-0922 担当道後

貴土地改良区の管理に係る県営土地改良施設及び用地の一部を下記により
使用(改築を含む。)したいので、関係書類を添えて申請します。

記

1. 使用(改築を含む)する土地改良施設の明細

所 在	申請地地番・地番先を記入 調整区域・市外化区域のどちらかを○で囲む 松山市朝生田町1丁目12番19号 (調整区域) 市街化区域
名 称	水路名が分からない場合は空白でよい 県営第10号水路
範 囲	上記土地改良施設の一部
種 類	あてはまるものを○で囲む (一般開水路) 暗渠水路 管理道路 溝 畔 サイホン水路 その他
使 用 量	床版面積(A)=7.55 m ² 排水管φ200 長さ(L)=0.50m

2. 使用に伴う工作物及び工事の内容

※記入箇所

設置する工作物	設置構造物の名称を記入 鉄筋コンクリート床版 排水管
規模・構造	設置構造物の寸法等を記入 床版 L=3.0m W=2.5m 排水管(HP管) φ200 L=0.5m
数量	設置構造物の箇所数を記入 1箇所

3. 使用(改築を含む)の目的又は用途及び方法

目的又は用途	構造物の設置目的を記入 宅地への進入及び浄化水放流の為
使用及び工事の方法	別紙図面に記載する部分について工事し使用する

4. 工事の期間

承認若しくは契約締結の日から 令和 年 月 日まで

(注)工事が完成し、完成届が提出できる日を記入

5. 使用期間

承認若しくは契約締結の日から 令和 年 月 日まで

6. 使用(改築を含む)の条件及びこれに伴う負担経費等は貴土地改良区の指示条件による。

7. 添付書類

現況写真

図面(位置図、平面図、断面図、構造図)

(記 入 例)

※記入箇所

床版橋・水道管・排水管・電柱等の場合

承 諾 書

下記のとおり、水路施設および管理道路を使用することについては、水利上何等の支障がないので承諾する。

令和 年 月 日

地元改良区・水利組合で記名押印

承諾者

住 所

名 称

氏 名

⑩

※判押し代を請求される場合があります

記

申 請 地	
申請物名称	
申請物寸法	(床版橋) 長さ m×幅 m 面積 m ²
	(埋設管) 口径 mm 長さ m
	(電 柱) 本
	(管理用地) 平方メートル
申 請 人	住 所
	名 称
	氏 名

(記 入 例)

※記入箇所

浄化水放流の場合

承 諾 書

下記のとおり、浄化水放流については、水利上何等の支障がないので承諾する。

又、浄化水放流に伴う関係地区住民の苦情等は、当方が責任を持って解決いたします。

令和 年 月 日

地元改良区・水利組合で記名押印

承諾者

住 所

名 称

氏 名

Ⓜ

※地元に対し別途放流料等が必要となる場合もあります

記

申 請 地	
浄化槽内訳	(浄化槽名称)
	(形 式) 対象人数 人
	(容 量) m ³
	(排水管) 口径 mm 長さ m
申 請 人	住 所
	名 称
	氏 名